



春爛漫クマバチの飛行（のぞみ川沿いにて撮影）



過ちを改めざる、是を過ちと謂ふ

―「論語」より―



滑川市社会福祉協議会会長 西元 正史

令和七年は大きな災害もなく穏やかな幕開けとなりました。今年の干支は乙巳（きのとみ）。新しい自分に生まれ変わり幸せな未来を掴むという意味があります。不幸にも犯罪を犯してしまった方々にとっても大きな転機となり、よい方向に歩み出されることを心からお祈り申し上げます。

さて、古代中国の思想家孔子は、人の真理はその言葉にあるのではなく実践にこそあると説いています。大なり小なり人は過ちを犯すものであり、その過ちから立ち直ろうとすることが大切だとしています。過ちを犯してそれを改めようとしないうことが過ちであると教えてくれています。

それゆえに、過去の犯罪や非行から立ち直ろうとしている方々にとつて、あたたくも厳しく接してくださる保護司の皆様は、心安らげる居場所であると同時に、立ち直ろうとする勇氣と力を与えてくれる頼りとなる存在であると思います。また、昨今はいじめやネットトラブル、薬物乱用等の問題が顕在化し、青少年の健全育成の環境も悪化しています。保護司の皆様には、犯罪や非行のない明るい社会を目指して日々熱心に研修や活動に取り組んでいただいていることに、心より敬意と感謝を申し上げます。そして、私たちはその力に頼るだけではなく、これまで以上に地域住民や関係機関がしっかりと手を携えて、社会福祉の立場から安心安全な地域づくりや青少年の健全育成に、他人事ではない取り組みを進めてまいりたいと思います。

第74回 社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

〈滑川市推進委員会実施報告〉

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。滑川市推進委員会では、7月の強調月間を中心に様々な活動を展開しました。

オープニングセレモニー

7月1日、滑川市民交流プラザにおいてオープニングセレモニーが開催されました。内閣総理大臣および富山県知事メッセージを伝達後、滑川市推進委員長の水野達夫市長の挨拶がありました。その後、尾崎照雄滑川市議会議長、大門良輔県議会議員から祝辞を頂戴しました。また、第60回県中学生生活体験発表大会に



先立ち、滑川市代表早月中学校3年の清田藍さんが「自分らしくを大切に」を発表し、上田良美教育長から激励の言葉が贈られました。当保護司会より今年度も「社会を明るくする運動」のクリアファイルを市内の小学6年生、中学3年生へ贈呈しました。私たち保護司は、更に犯罪のない地域づくりに努めていくことを確認し、心新たにしました。

県中学生生活体験発表会

社会を明るくする運動富山県推進委員会主催の第60回県中学生生活体験発表大会が7月6日、富山市のタワー11スカイホールで開催されました。大会には県内各地の代表16人が参加、早月中学校3年清田藍さんが「自分らしくを大切に」と題して発表



し見事、読売新聞北陸支社長賞を受賞しました。当日は、更生保護事業関係者をはじめ、発表者の家族や担当教諭、一般参加者等が来場し、熱のこもった発表に耳を傾けていました。

中学生との対話集会

〈SDGs未来都市滑川〉

「希望あるまちづくり」を目指して

若者が集える場所へ

中学生らアイデア

社会を明るくする運動滑川市推進委員会と滑川地区保護司会は、7月29日、市民交流プラザにおいて、「中学生との対話集会」を開催しました。滑川市が内閣府の「SDGs未来都市」に選定されたことを受けて、水野市長から選定経緯や今後の取組み等についての講話がありました。その後「希望あるまちづくり」を目指して、市企画政策課の協力も得ながら、参加者全員で課題や改善策を話し合いました。滑川・早月両中学校の生徒代表や保護司会・更生保護女性会・協力雇用主会員など約60名が参加し、7班に分かれて日頃の思いや意見を率直に出し合い、付箋紙等も活用してアイデアを積み上げ、班毎に発表し合いました。街灯が少なくといった課題のほか、

「人が集まれて若者も自分を磨けるスケートボード・パークの新設」「グルメスポット・娯楽施設も含めた魅力ある大型商業施設の充実」「空き家を活用し若者らが集える場所を作る」といった数多くのアイデアが出され、今回も非常に有意義な集会となりました。



「社会を明るくする運動」のシンボルマーク等

更生ペンギンのホゴちゃん

立ち直ろうとしている人をいつも温かく見守り、犯罪や非行のない幸せな社会を願う心優しいペンギンです。



●参加した中学生のアンケートより

アンケートより

今日の対話集会で、未来の滑川について深く考えることができたけど、その反面、今何不自由なく暮らしていても、この先のことを見据えると、様々な問題を抱えているという事実を知りました。

(中略) これからの中学校生活ではSDGsの意識を日頃から高め、配慮した生活ができていければと思います。(後略) 滑中生

「日本の問題」としてしか今まで捉えていなかったことを「滑川市の問題」として見てみると、一気に身近に感じられました。特に環境問題の解決には一人一人の意識が大事であり、今回の対話集会で危機感を感じることができたので、良い機会になったと思います。(後略) 滑中生

対話集会を終えて、滑川市の課題やその解決策を話合うことで、滑川市への理解が深まり興味がわいた。また、初対面の方々と意見を出し合い、まとめ、発表するという体験は新鮮で、とても楽しかった。誰とでも一緒に活動ができ、結果を出し、形にできるという能力は社会に出てからも必要だと感じた。(後略) 滑中生

今回の対話集会で滑川市の魅力や良い所が再確認できると同時に、自分と同じ中学生や大人が感じてる不便な点が分かり、滑川市について考え直すきっかけになりました。同じ年齢の人や大人と、こういった話題で話合う経験はあまりないので、とても有意義な時間になりました。

(後略) 早中生

僕は、今日の対話集会を終え、とても有意義な時間になったと感じました。なぜなら普段生活していて改善してほしいところや悪いところはありますが、それについて話合ったり深く考えたりする機会がなかったからです。僕は主に人口減少について考え、自分の意見をしっかりと発表することができました。(後略) 早中生

市長と直に意見を言い合える場があるのは、良いなと思いました。普段感じていたことなどをそのまま伝えられるというのはあまりない機会なので、とても良い経験ができました。(後略) 早中生

滑川市の魅力や課題について考える機会が少なかったので、深く考えて意見交換することができて良かったです。課題を改善しようとする、新たな課題が生じてしまうところがとても難しいと思いました。

(後略) 早中生

「社会を明るくする運動」のシンボルマーク等の幸福(しあわせ)の黄色い羽根



犯罪や非行のない社会づくりに取り組む賛同のしるしとして使用されており、更生保護のシンボルマークであるヒマワリの黄色と、刑期を終え出所した男性をあたたく迎える夫婦愛を描いた映画「幸福の黄色いハシカチ」から着想を得て考案されました。

小中学生作文コンテスト

滑川市推進委員会推薦作品選考

この作文コンテストは、小・中学生の皆さんに、犯罪や非行問題等に関して日頃考えていることや体験したことや作文を書くことで、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

応募していただ

いた次の作品を

滑川市推進委員

会で審査し、○印の応募者作品4点を富山県推進委員会へ推薦しました。ご協力いただいた各校と、児童・生徒の皆さんに紙面を借りてお礼申し上げます。



小学生の部

5年 森本 誉

明るい社会をきずくために

6年 小泉 愛珠

私が体験した地域の活動

人と人とのつながり

6年 出村 瑠音

社会を明るくするカギは?

6年 土肥 冬佳

立ち直りを助け、寄り添う人に

6年 大井莉緒菜

しらんぷり

見て見ぬふりとはどういう事か

6年 中屋 心那

挨拶をして社会を明るく

6年 原 来心

誰もが輝ける社会とは

5年 大倉 三智

勇気を出して、まず一歩

6年 松井 彩登

オリンピックの大切さ

6年 澤井 怜菜

あいさつ一つ みんなの輪

中学生の部

3年 北野 佑衣

ひとりじゃないことの強み

3年 谷川 綾香

いじめのない明るい社会をつくるには

3年 村尾 風胡

生き方

3年 稲場 由羽

一歩踏み出してみたい

「ダメ！ゼッタイ！」
キッパリ・ハッキリ

ことわる勇気を持つよう

北加積小学校で薬物乱用防止教室

同校での開催は今年度で11年目となり、6年生34人にオーバードーズや大麻、覚せい剤等の違法薬物の恐ろしさを伝えました。児童にも分かり易い内容の動画を利用したり



○×クイズで児童全員に答えてもらうことで、薬物接種の怖さについて自分ごととして真剣に受け止めてもらえたと思います。薬物乱用防止のためには「一人で悩まないで友だちや家族に何でも相談すること」「誘われてもキッパリ、ハッキリとことわる勇気を持つこと」が充実した素晴らしい人生になることを伝え、最後に全員で「薬物乱用はダメ！ゼッタイ！」を3回唱和して、薬物に関わらないことを誓いました。薬物乱用防止は普段から関心を持って対処することが大切であり、私達の身近な地域社会から薬物乱用を許さない社会環境を作っていく必要があります。

薬物乱用防止教室を終えて、皆さんに感じたことを書いてもらいました。

今回の薬物乱用防止教室では、薬物乱用の危険性や悪いいきようを体におよぼすことや、薬物乱用をかんゆうされても「ダメ！ゼッタイ！」を思い出してキッパリとことわることを学習しました。私は今後、薬物乱用によりできる一瞬の幸福や楽しさよりも、人生を最高に楽しく長生きできることを大切にして生活したいです。（後略）

私は薬物乱用防止教室で改めて、たった一つの命を大切にしようという気持ちになりました。そして薬物乱用は脳などに害を与えて一回でもなつたら元にもどらないという怖さを知りました。他にも薬物乱用は自分の意志ではやめられなくなり、重い罰を受けることなどが分かりました。また友達や先輩などの色々な人達に甘い誘いをされた時は「ダメ！ゼッタイ！」と断る勇気をもつことが大事だと思いました。（後略）

（前略）もしも、薬物をすすめられたら、将来のことや家族のこと、社会のことなどを思い出して、キッパリと断れるようにして、ゆうわくに負けないようにしたいです。

危険な薬物はただダメだと思っていたけど、脳をこわす、体にえいきようをあたえる、社会にもかかわる、というダメな理由をきくと、ぜったいに使いたくないと思いました。これからは「ダメ！ゼッタイ！」を心がけていきたいです。

富山県薬物乱用防止セミナーで

依存症の怖さや復帰支援策を学ぶ

2月15日、富山県（厚生部薬事指導課）主催のセミナーが富山市の高志会館で開催され、当保護司会からも県薬物乱用防止指導員が参加、専門家の講演や当事者の体験談を通して薬物依存症の怖さを学び、社会復帰支援の在り方を考えました。

「大麻やオーバードーズの危険性と教育による対応」と題しての講演では、学校や家庭での孤立、自尊心の欠如が大麻の使用や薬の過剰摂取につながるとし、「薬物などの誘惑に負けない気持ちを持つことが充実した人生につながると伝えることが大切」と訴えられました。

また、薬物依存症患者らの社会復帰に取り組むNPO法人富山ダルクリカバリークルーズの施設入所者等による体験談や、富山ダルク岩瀬太鼓「海岸組」による太鼓演奏披露もありました。

滑川地区協力雇用主会

滑川地区協力雇用主会主催の講演会を開催

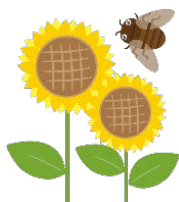
子どもたちの性に向き合う

思春期までに伝えたいこと

滑川地区協力雇用主会（原明会長）は8月31日、早月中学校ふれあ

いホールにおいて、保護司会、更生保護女性会との共催により、子ども性の性にかかわる講演会を開催しました。講師は、女性クリニックWe! TOYAMA代表で産婦人科医の種部恭子富山県議会議員に務めていただきました。

予期せぬ妊娠の背景には性暴力があり家族や周囲の支援が必要なことなどを紹介。子どもが助けを求めるのは一回きりだとして見ないふりや頭ごなしに怒ったりせず寄り添うような言葉を掛けてほしいと訴えかけられました。また、子宮頸がんを予防するHPVワクチンのキャッチアップ接種の周知も呼びかけられました。



【写真で振り返るこの1年】



令和6年7月1日

“社会を明るくする運動”オープニングセレモニー



令和6年6月2日

視察研修東海北陸厚生局麻薬取締部(名古屋市中区)



令和6年7月29日

“社会を明るくする運動”
中学生との対話集会



令和6年7月13日

“社会を明るくする運動”更生保護フェアin中新川
(北アルプス文化センターにて)



滑川市社会福祉大会

令和6年11月9日



令和6年8月26日

保護司会
協力雇用主会
更生保護女性会
<合同交流会>



地域別定例研修会(年3回)



令和6年11月11日

滑川警察署との情報交換会



滑川市更生保護女性会だより

《ご挨拶》

会長 浦田節子

更女会の皆様 こんにちは。今年も子育て支援、ミニ集会、養得園夕食奉仕配膳、社会を明るくする運動、みんなの集い、日帰り研修等の活動を通して、みんなで楽しく更生保護に励みましょう。
令和7年度も笑顔で活動を！

＜写真で振り返る更女会この1年＞

①養得園夕食奉仕(年4回)



西加積地区



北加積地区



②おいしい「そうめん」販売(6月)



北加積地区



早月加積地区

④子育て支援活動(西加積地区)



④子育て支援活動



⑤みんなの集い(6年3月)



令和6年度実施行事

- ◆総会(4月)
- ◆養得園夕食奉仕(年4回)→写真①
- ◆そうめん販売(6月)→イラスト②
- ◆富山県中学生生活体験発表会(7月)
- ◆富山県更生保護フェア-in中新川(7月)
- ◆中学生との対話集会(7月)
- ◆資源回収(9月・3月)→写真③
- ◆保護司会との合同研修会(9月)
- ◆子育て支援・ミニ集会→写真④
- ◆みんなの集い(10月・3月)→写真⑤
- ◆中部地方更生保護大会(11月)
- ◆ボランティアのつどい出展(11月)→⑥



③資源回収 年2回(9月・3月)



⑥ボランティアのつどい出展(11月)

令和6年度 受彰者

◆法務大臣表彰

岩城 武志(保護司)

◆全国保護司連盟理事長表彰

高橋 眞琴(保護司)

◆中部地方更生保護委員会委員長表彰

松井 慎一郎(保護司)

◆中部地方更生保護委員会委員長感謝状

山下 美恵子(更生保護女性会)

◆中部地方保護司連盟会長表彰

川崎 令子(保護司)

◆中部地方更生保護女性連盟会長表彰

酒井 祐子(更生保護女性会)

◆富山保護観察所長表彰

八倉 巻あけみ(保護司)

◆富山保護観察所長感謝状

(勤続十年保護司)

廣瀬 節子(保護司)

(更生保護女性会員)

石場 弘子(更生保護女性会)

萩原 弘美(更生保護女性会)

◆富山県保護司会連合会長表彰

坂口 司(保護司)

◆滑川市社会福祉協議会長表彰

廣瀬 節子(保護司)

石坂 弘子(更生保護女性会)

(題字 阿波加蒼岳)



＜滑川地区更生保護サポートセンター＞

- 住所
滑川市田中町132
滑川商工会議所内
- 駐在員
保護司1名以上常駐
- 開館時間
午前10時～午後4時
- 休館日
土・日・祝日・年末年始 他
- 電話番号
076-476-2690